

AZLMにおけるAIソリューション (映像AIサービス、AZLMアプリ、DB分析サービス)の導入による 顧客分析支援

東日本電信電話株式会社 岩手支店 (岩手県盛岡市)

情報通信業 資本金3,350億円 従業員数4,950名(NTT東日本グループ: 35,500名)

会社概要

1999年創業。東日本地域における地域電気通信業務のほか、「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」として、グループの保有する通信技術、アセット、ノウハウを活用し、地域活性化や地域の様々な社会課題を解決するための取組を行っている。



※店内展示はイメージです

先進的なマーケティングを手掛ける【AZLM CONNECTED CAFE】と顧客分析に長けた【映像AIカメラ】の連携による新たな小売形態を実現。入店した顧客をAIカメラで分析することで、より正確なターゲティングが可能に！

※AZLM=「From A to Z, Live Marketing」の頭文字で、あらゆる商品をライブでマーケティングできる未来型空間を指す。「AZLM」はコネクテッドコマース株式会社の登録商標です。

取組の背景は？

- ・岩手県の地域商社であるmanordaいわて株式会社とのアセット活用の検討を行う上で、NTT東日本岩手支店の空きオフィスを有効活用することになり、新たな小売施設の開店を目指した。
- ・この中で、「店舗の省人化×ICTによる非接触購買と店舗運営の効率化」を図りながら、全国各地の産品、地域情報の展示を通じて、ECサイトへの誘導や関係人口創出のPRを行う新業態の店舗、連携して取り組んでいくこととなった。

具体的な取組内容は？

- ・ライブマーケティングCAFE『AZLM CONNECTED CAFE manordaいわて店』店内に、最大約130点の展示スペースを有し、1スペース・1カ月単位の出展料で提供。
- ・来店客は、飲みながら、食べながら、ディスプレイされた岩手県内外の優れたモノ・コト・ヒト等を見て・聞いて・触れて、ECサイトで購入できる。

【DX/IoT】

NTT 東日本の映像AIを活用し、入り口来店者属性分析、棚カメラ2台による導線分析を実施。店内の人流や、来店者等の展示商品への興味関心等の店内行動データを匿名化した上で解析し、出展者へフィードバックする。

【売らないモノ売り手法の導入】

展示ショールームのスマートストア方式採用による、大幅なコスト削減や地場産品の新たなチャネルとしてのPRの場を提供。

【地方創生・地域活性化】

窓口アセットを活用した、スマートストア、コワーキングスペース提供で、街なかの賑わいを創出。

期待する効果は？

- ・本ビジネスモデルは「売らないモノ売り」を実現することにより無人店舗の営業モデルを構築。今後の店舗の人材不足解消の可能性を秘めている。
- ・また、NTT東日本岩手支店と岩手銀行（manordaいわての親会社）において、銀行の顧客等に対するDX支援の協定を締結しており、このような先進事例を顧客に見せていくことで、DXの普及・展開やまちなか活性化などにつなげていく。